

# 写真ワークショップと地域創生

野田 研一・宮嶋 康彦・笹川 貴吏子

## 【目的】

本発表は、長崎県対馬市における地域創生の一環として、市民より参加者を募り、写真撮影および写真集制作を行うワークショップの成果を基にしている。写真というメディアを活用することで、景観としての〈場所〉を意識化し、さらに〈対馬〉という特定の場所・空間および風景がどのような要素によって組成され、機能しているかを対馬市民自身が実践的に探ることを目的とする。上記の作業をふまえて対馬市民を対象として「地域振興と風景の再発見」と題する講演と討議を行い、景観としての地域の構造分析および地域創生のための議論を深める。

## 【方法】

ワークショップは、2017年9月9日(土)と9月10日(日)の2日間にわたって実施した。参加者は、市民参加者5名に主催者側4名の計9名であった。一日目は主に写真撮影及び作品選択を行った。撮影地は対馬市厳原町豆酏周辺で、自然林、神社域、海浜、農地などを巡りながら4時間ほど撮影を行った。その後、対馬市交流センター会議室に集合し、講師による「風景写真」をめぐる講義を受講し、自作品の選定作業を行った。作品選択とは、当日参加者自らが撮影した作品より5作品を写真集収録用に選択することを指す。選定された作品は、パワーポイントにアップし、翌日午前中のプレゼンテーションに備えた。二日目は、午前中に自作品に「タイトル」と「キャプション」を付ける作業を行い、その後、参加者全員の作品をパワーポイントで一本化したものをプレゼンテーションした。午後、選定された作品をまとめて収録した写真集を制作するための実践講座を実施した。写真のプリントアウト作業、そして製本講座の順に進めた。

## 【結果】

ワークショップを通じて、地域の内と外の視点が混じった一冊の写真集『対馬風』が完成した。

## 【考察】

撮影から写真集制作に至るプロセスを通じて、参加者は、写真というメディアが「風景」を「よりよく見る」方法であることを自覚し、また、何気ない場所や事物が「風景」となる不思議な感覚を具体的に学び、地域を異化しつつ眺める新しいアプローチを実践することができた。写真集制作を目標として設定する本ワークショップでは、アートとしての写真を意識化することが、記録やスナップショットとは本質的に異なる、「風景へのまなざし」の現実化に寄与することを確認した。

※本企画は、2016年度、立教大学ESD研究所と対馬市との間に締結された「ESD研究連携に関する覚書」に基づくプロジェクトの一部として、対馬市の全面的な協力を得て実施。(文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「ESDによる地域創生の評価とESD地域創生拠点の形成に関する研究」研究代表者・立教大学阿部治)

# 写真ワークショップと地域創生

## Regional Revitalization through Photo Workshop in Tsushima

野田研一・宮嶋康彦・○笹川貴吏子(立教大学ESD研究所)

Kenichi NODA・Yasuhiko MIYAJIMA・Kiriko SASAKAWA

(Research Center for Education for Sustainable Development, Rikkyo University)

### ■要旨■

立教大学ESD研究所における地域創生研究プロジェクトの一環として、写真撮影による地域および風景の「(再)発見」を目的とする企画である。風景とは自明のものとしてあるものではなく、ある意味で「創造」されるものであり、特定地域をめぐる「場所の感覚」(sense of place)の表現形態である。本ワークショップの特徴は、身近な地域の風景をアート作品として表現することを最終目標として掲げることにより、参加者の地域を見つめるまなざしをより明確な風景創造に向けて意識化する点にある。

### ■Abstract■

This photo workshop was conducted as part of the "Reginal Rivalization" Research Project at Rikkyo Research Center for ESD, aiming at discovering or "re-discovering" the local landscapes by photographing. Theoretically, landscape is not merely something out there, but something to be deeply related with and to be "created" by the viewers' sense of place. The goal of this workshop is to provide the participants, local or not, an opportunity to raise awareness of the regional landscapes and to gain a renewed sense of place toward them.

### ■目的■

本発表は、長崎県対馬市における地域創生の一環として、市民より参加者を募り、写真撮影および写真集制作を行うワークショップの成果を基にしている。写真というメディアを活用することで、景観としての(場所)を意識化し、さらに(対馬)という特定の場所・空間および風景がどのような要素によって組成され、機能しているかを対馬市民自身が実践的に探ることを目的とする。

上記の作業をふまえて対馬市民を対象として「地域振興と風景の再発見」と題する講演と討議を行い、景観としての地域の構造分析および地域創生のための議論を深める。

### ■写真ワークショップと地域創生 概要■

日時: 2017年9月9日、10日

場所: 長崎県対馬市

【撮影地】対馬市厳原町豆飯周辺の自然林、神社域、海浜、農地など 【講義場所】対馬市交流センター会議室

参加者: 市民参加者 5名、主催者側 4名、計9名

内容:

#### 【一日目】

主に写真撮影及び作品選択を行った。その後、対馬市交流センター会議室に集合し、講師による「風景写真」をめぐる講義を受講し、自作品の選定作業を行った。作品選択では、当日参加者自らが撮影した作品より5作品を写真集収録用に選定する。選定された作品は、パワーポイントにアップし、翌日午前中のプレゼンテーションに備えた。

#### 【二日目】

午前中に参加者が、自作品に「タイトル」と「キャプション」を付ける作業を行い、その後、参加者全員の作品をパワーポイントで一本化したものをプレゼンテーションした。午後、選定された作品をまとめて収録した写真集を制作するための実践講座を実施した。写真のプリントアウト作業、そして製本講座の順に進めた。

講師: 宮嶋康彦(写真家、東京造形大学写真専攻領域講師)、野田研一(立教大学名誉教授、同ESD研究所運営委員)

アシスタント: 笹川貴吏子(立教大学大学院社会学研究科博士後期課程)

対馬市役所担当者: 前田剛(対馬市市民協働・交通対策課)

### ■結果■

ワークショップを通じて、アートとしての写真、そして広義の美意識の対象としての風景の把握を実践するために、撮影から写真集編集・作成過程を一連のプログラムとして構成し、その成果として参加者全員による、対馬に対する内と外の視点が混じった一冊の写真集『対馬風』を完成させた。

### ■考察■

撮影から写真集制作に至るプロセスを通じて、参加者は、写真というメディアが「風景」を「よりよく見る」方法であることを自覚し、また、何気ない場所や事物が「風景」となる不思議な感覚を具体的に学び、地域を異化しつつ眺める新しいアプローチを実践することができた。写真集制作を目標として設定する本ワークショップでは、アートとしての写真を意識化することが、記録やスナップショットとは本質的に異なる、「風景へのまなざし」の現実化に寄与することを確認した。

### ■まとめ■

アート作品としての写真撮影を目標化することにより、参加者は何気ない地域の景物が「風景」として再定義される実践を経験した。「風景」をよりよく見る方法、あるいは「よりよく見る」まなざしが創り出す「風景」の発見により、地域の事物や景観がたんに観光写真的な価値にとどまらない地域の多様な価値に根ざしていることを認識するに至る。参加者は地域を「風景」として「よりよく見る」ことを実践的に学ぶと同時に、それらの「風景」のありかたを通じて地域の歴史や文化、さらには地域コミュニティの現状そのものを認識することが可能になる。

※本企画は、2016年度、立教大学ESD研究所と対馬市との間に締結された「ESD研究連携に関する覚書」に基づくプロジェクトの一部として、対馬市の全面的な協力を得て実施するものである。(文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「ESDによる地域創生の評価とESD地域創生拠点の形成に関する研究」(研究代表者・立教大学阿部

〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1 12号館2階 B206 TEL/FAX: 03-3985-2686 E-mail: esdrc@rikkyo.ac.jp  
<http://www.rikkyo.ac.jp/research/laboratory/ESD>

(のだ・けんいち 立教大学名誉教授/同ESD研究所運営委員)

(みやじま・やすひこ 写真家)

(ささかわ・きりこ 立教大学大学院社会学研究科博士後期課程/同ESD研究所RA)